

○ 基本事項

- （基本理念）
- ・ 輸送の安全・安定を最優先に確保
 - ・ 地域に密着した「県民鉄道」へと一新し、生活や交流の基点となるサービスを提供
 - ・ 行政や企業、住民の協力のもと、長期に渡って安定した経営を維持
- （経営形態等）
- ・ 経営主体 … 県・市町・民間からの出資による第三セクター会社
 - ・ 地域鉄道との連携 … 福井鉄道、えちぜん鉄道との事業連携により効率化と利便性向上

経営計画（検討項目）とは

- ・ 平成30年8月に決定した基本方針に基づく検討項目について、現時点で取りまとめたもの。
- ・ 今後、各項目をより具体化し、令和3年1月頃に最終案を決定後、三セク会社に引継ぐ。

○ 主要事項

① 運行計画

通勤・通学時間帯の利便性向上策などを立案

○ 増便・快速列車の運行

- ・ 乗車率が高い区間の朝、夕を中心に増便
- ・ 快速列車（増便扱い）の運行

○ 利便性の高いダイヤ

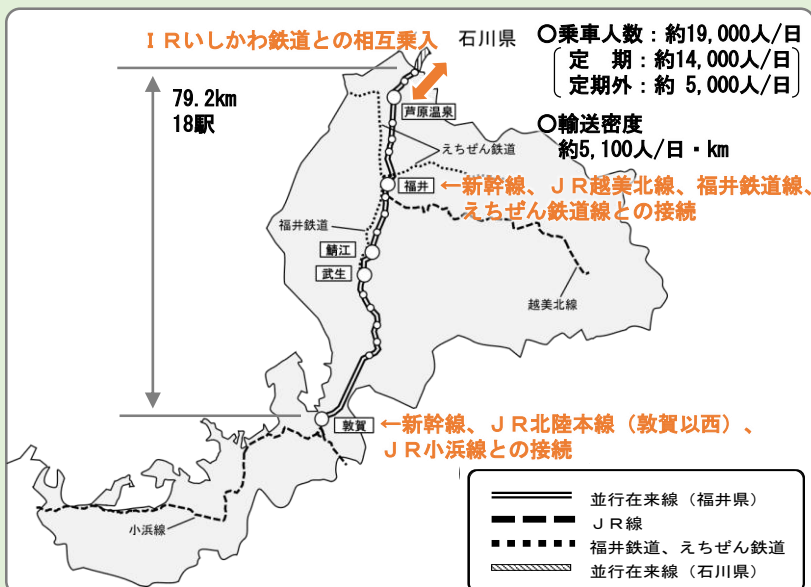
- ・ 可能な限りパターン化（毎時〇分に発着）し、わかりやすいダイヤ編成
- ・ 新幹線やJR特急など他社線との接続利便性の確保
- ・ 大規模集客イベント時における臨時便の運行

○ 石川県区間との相互乗入れ

- ・ 福井・石川県境を跨ぐ乗客の利便性を確保

○ 観光・イベント列車の運行

- ・ 沿線市町で催されるイベントと連携した列車の運行
- ・ 定期外利用者の確保を目的とした観光列車の運行



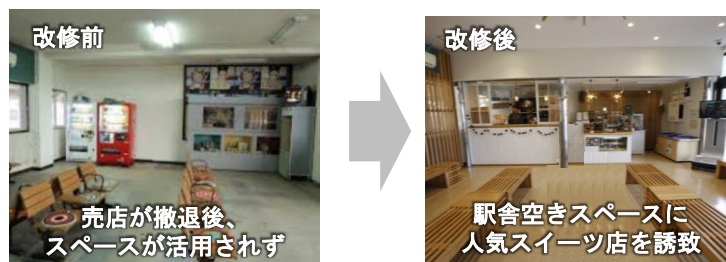
② 利用促進策

地域が一体となって鉄道利用を促す環境づくり

○ 既存駅のモデルチェンジ・駅周辺用地の活用

- ・ 親しまれる駅、行ってみたい駅に改善

モデルチェンジの例 あいの風とやま鉄道：泊駅



- ・ パーク＆ライド駐車場の拡充や駐輪場の移設・新設

○ 新駅の設置

- ・ 三セク会社の増収に資するものであることを前提に、沿線市町と十分な意思疎通を図りながら検討

○ 駅・駅周辺のにぎわいづくり

- ・ 駅舎内、駅周辺での各種イベントや市場等の開催

○ 地域交通との連携

- ・ JR各線、福鉄、えち鉄、バス会社とも連携し共通フリー券など企画切符の発行や鉄道イベントの共同開催

○ インバウンドへの対応

- ・ 訪日外国人にとって利用しやすいサービスを提供

○ マイレール意識の醸成

- ・ 会社名称を広く公募により決定
- ・ サポーターズクラブの設立

③ その他の検討項目

効率的な組織・施設、経営の安定化など

○ 組織・要員計画

- ・ 運営組織のスリム化
- ・ 人的支援をJRに要請

○ 施設・車両計画

- ・ 譲渡前の修繕・改良をJRに要請
- ・ 車両は現在の営業車両の耐用年数等を確認のうえ、譲渡についてJRと調整

○ 収支見込み、経営安定化策

- ・ 令和2年度に再度実施する旅客流動・需要予測調査の結果を基に収支を見直し
- ・ 先行事例も参考に運賃水準を設定し、経営安定基金（仮称）の規模を決定
- ・ 拠出者は県・市町のほか、企業からの寄付やふるさと納税による支援も検討

- ・ 旅行業、広告業、不動産業など関連事業の展開

○ 開業に向けたスケジュール

令和2年2月	経営計画（検討項目）公表
令和2年5月～	旅客流動および需要予測調査
令和2年12月頃	収支見直し公表
令和3年1月頃	並行在来線対策協議会 ・ 出資および基金に係る関係者間の負担合意 ・ 経営計画（最終）を決定し、三セク会社へ引継ぎ
令和3年夏頃	三セク会社増資、本格会社へ移行
令和5年春頃	並行在来線開業